

2018年9月1日

第111号

発行：日本臨床検査技師連盟
 発行責任者：梶山 広美
 編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇ 代表挨拶
- ◇ 第1回連盟常任執行委員会開催
- ◇ 常任執行委員意見交換会
- ◇ 執行委員名簿

ご挨拶

日本臨床検査技師連盟 代表 梶山広美



新涼の候、会員の皆様には益々ご健勝で、ご活躍のことと拝察申し上げます。日頃は、日本臨床検査技師連盟(以下、日技連と略す。)の活動にご理解とご協力を賜っていることに対し、書面をお借りしてお礼申し上げます。

この度、日技連執行委員会で承認され、前期に引き続き、平成30、31年の連盟代表を拝命しました梶山でございます。2年間連盟活動に精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、平成30年4月、6年に一度の診療報酬と介護報酬の同時改定がありました。団魂の世代が全て75歳以上の高齢者となる2025年に向けた、医療・介護両制度の構築にとって重要な節目の年となりました。平成30年7月27日には、改正医療法等に基づく検体検査の精度確保のための基準を示す厚生労働省令の改正が公布されました。12月1日から施行されます。この医療情勢の中、日技連においては、日本臨床衛生検査技師会(以下、日臨技と略す。)とともに、国民の健康の保持・増進のために我々は何ができるか、臨床検査の発展及び臨床検査技師制度のための政治活動を行い、国民の医療、福祉に貢献してまいります。そのためには日技連は組織力を強化し、強い団結力と行動力を持たなければならないと考えています。

日技連は、日臨技の政策を政治の場を通じて要望していくために組織された政治団体であり、その活動は、大きく「政治活動」と「選挙活動」になります。日技連の政治活動は、毎年事業活動方針を示し活動しています。また、選挙活動に関しては、衆・参議院議員総選挙や都道府県知事選挙などへの応援があり、来年7月に予定されている参議院通常選挙が我々日技連にとって大きな活動になります。日臨技の政策を実現するため、宮島喜文参議院議員の支援並びに臨床検査関係議連所属の国会議員等を支援していくことは重要であり、日技連の活動は必要不可欠です。

このたび、平成30年8月11日連盟常任執行委員会を開催し、5つの議案が承認されました。その後、諸事情により今回はメール審議となった日技連執行委員会により、すべての議案が承認されたことをご報告申し上げます。平成30、31年の新役員が決まり活動してまいります。大きな課題は、会員を増やし、組織・財政基盤を強化する必要があることから、今期の組織では、新たに青年部を立ち上げ、特に若い会員を増やしていくための取り組みを実施します。

また、平成31年1月1日から、会費1口3,000円の引き上げを実施が既に決まっていますので、更なる基盤強化に努めてまいります。

今後とも各都道府県連盟支部と連携し、ご協力を得ながら日技連の活動を進めてまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第1回連盟常任執行委員会開催される

平成30年8月11日(土) 午後1時分から同2時まで 平成30年 第1回日本臨床検査技師連盟常任執行委員会 を開催した。5つ議案に対し委員会で全員一致で了承し、8月16日(木)から連盟執行委員会メール審議において同議題について審議することとなった。



第一号議案 第25回参議院議員通常選挙に日本衛生検査所協会理事 小川眞史氏の推薦について
当連盟として同氏を推薦する事で了承された。

第二号議案 「小川しんじ君を激励する会」参加券の購入並びに参加動員について

「小川しんじ君を激励する会」の参加券の購入について60口の対応。

「小川しんじ君を激励する会」の参加動員については東京都30名、神奈川県20名、埼玉県20名、千葉県20名、日臨技10名の動員する。

第三号議案 連盟の寄附受納について

平成31年から3,000円へ値上げに伴ない、各支部から従来の1,000円なら集めやすいので「寄付」として扱っていただけないかという意見が多数あった。

連盟規約第18条(3)により寄附金は認めていることから問題ないが、連盟会費はあくまで1口3,000円であることを強調する。

ただし、寄附の場合は金額の多寡に関わらず、氏名、会員番号、住所を聴取しておく。

第四号議案 組織内候補の宮島議員が長野県飯田市に、第64支部の事務所を移転開設したことから、初度経費に充てるための寄付をしたい。

了承された。

第五号議案連盟会員証の発行について

了承された。

連盟執行委員会審議結果

第一号議案 賛成 56 反対 0

第二号議案 賛成 55 反対 1

第三号議案 賛成 54 反対 2

第四号議案 賛成 56 反対 0

第五号議案 賛成 54 反対 2

※議決の結果第一号議案から同五号議案まで賛成多数で承認された。



常任執行委員の意見交換会を開催

平成30年8月11日に日臨技会館にて開催された常任執行委員会の後、ブロック長の意見交換会を開催した。当日は全国的にお盆休暇中であり、また日臨技での各種委員会が開催されていたため、全ブロック参加には至らなかったが貴重な意見交換会となった。

梶山代表から意見交換会の主旨の説明を受け、屈託のない意見交換会が始められた。

まず初めに各ブロックにおける実態の報告がされた。各県技師会において理事会や地方学会等でもPRをしているが、まだまだ技師連盟に対して認知度が低い状態である。入会することに対しメリットは何か。また、入会しないことでのデメリットを理解されていないなどの意見が出された。

技師連盟が毎月発行している連盟ニュースやホームページ、PR用パンフレットの活用については全会員に届くシステムが確立されていない実情があるという意見が出され、今後の課題となった。

この様な意見を踏まえ、具体的行動として加入率の低い県を重点化し加入率50%を目指すこと、各県技師会役員に活動の必要性をしっかりと理解していただき全員が連盟会員になるよう運動を強化することとなった。

今後AIやIoTが発達し臨床検査技師の職域に大きな影響を与える時代を迎え、我々臨床検査技師の将来のために日臨技活動だけではなく、政治的活動をすることが不可欠で具体的な行動を起こさなくてはならない。受け身ではなく自らが臨床検査技師の職域を守り、発展させていくことが必要であることを再確認し閉会した。 【幹事長 中井】



宮島参議院議員活動報告

8月29日、宮島喜文議員事務所が都内から長野県飯田市に移転し事務所開きを行った。

この内容は、南信州新聞にも内容が掲載された。



日本臨床検査技師連盟役員名簿 (平成30年31年)

常任執行委員

連盟代表	梶山 広美
連盟副代表	長沢 光章
連盟副代表	横地 常広
連盟幹事長(会計責任者)	中井 規隆
連盟女性部長	—
連盟青年部長	木村 賢司
常任執行委員	千葉 正志
常任執行委員	竹浦 久司
連盟事務局長(会計職務代行者)	篠崎 隆男
北日本ブロック長	藤田 秀文
関甲信ブロック長	並木 薫
首都圏ブロック長	原田 典明
中部圏ブロック長	別當 勝紀
近畿ブロック長	脇村小津江
中四国ブロック長	岡本 由美
九州ブロック長	瀧口 巖
監事	日野浦雄之 津田聡一郎

執行委員・都道府県支部長

北海道	橘内 健一	滋賀県	守安 岳征
青森県	一戸 茂人	京都府	小澤 優
岩手県	畠山 秀樹	大阪府	高田 厚照
宮城県	佐藤 誠	兵庫県	東塚 伸一
秋田県	藤田 秀文	奈良県	今田 周二
山形県	齋藤 友成	和歌山県	脇村小津江
福島県	柴田 昭浩	鳥取県	西川 清司
茨城県	川崎 智章	島根県	錦織 昌明
栃木県	八木澤 壽	岡山県	岡本 由美
群馬県	井田 伸一	広島県	米田登志男
埼玉県	並木 薫	山口県	吉本 裕史
千葉県	坂本 浩輝	徳島県	高松 典通
東京都	後藤 清	香川県	宮川 朱美
神奈川	森山 亨	愛媛県	赤尾 智広
新潟県	渡邊 博昭	高知県	前岡 智佐
富山県	柴田 正信	福岡県	上田 誠
石川県	山口 俊男	佐賀県	百田 浩志
福井県	加藤 幸久	長崎県	丸田 秀夫
山梨県	海野 勇蔵	熊本県	瀧口 巖
長野県	宮 恭一	大分県	佐藤 元恭
岐阜県	森 さゆり	宮崎県	奥野 吉克
静岡県	石井 浩崇	鹿児島県	有村 義輝
愛知県	岡田 元	沖縄県	瀬戸 司
三重県	別當 勝紀		

顧問

岩田 進	宮島 喜文
直井 芳文	長迫 哲朗